

**「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」「毎月分配型」の  
2013年6月17日決算の分配金について**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」「毎月分配型」の2013年6月17日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、基準価額の水準、ファンドが投資する外国投資信託のポートフォリオの平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)<sup>\*</sup>の水準(2013年5月31日現在5.7%)、為替取引によるプレミアム/コストの水準等を勘案し、「円コース」は80円から50円に、「資源国通貨コース」は100円から80円に、「アジア通貨コース」は100円から80円に分配金を引き下げることといたしました。

分配金引き下げに関する詳細な説明は、次ページ以降をご参照ください。

<sup>\*</sup>ポートフォリオの平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)は、ファンドが投資する外国投資信託の各副投資顧問会社のポートフォリオにおける平均最終利回りをその組入比率で加重平均したものです。米ドル建て以外の債券等への投資にあたっては、原則として米ドル以外の債券など組入資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行いません。平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)は、債券など組入資産(現地通貨建て)の最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コストを反映し、表示しています。

分配金額と基準価額は下表の通りです。

**【分配金】(1万口当たり、課税前)**

| ファンド                       | 円コース<br>(毎月分配型)             | 資源国通貨コース<br>(毎月分配型)         | アジア通貨コース<br>(毎月分配型)         |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 分配金額<br>(前回決算)             | <b>50円</b><br>(80円)         | <b>80円</b><br>(100円)        | <b>80円</b><br>(100円)        |
| 決算日の基準価額                   | <b>9,115円</b>               | <b>6,549円</b>               | <b>7,536円</b>               |
| 決算日の基準価額(分配金再投資)<br>(前回決算) | <b>12,445円</b><br>(12,877円) | <b>12,370円</b><br>(14,330円) | <b>12,591円</b><br>(14,107円) |
| 分配金額設定来累計                  | <b>2,930円</b>               | <b>4,800円</b>               | <b>3,920円</b>               |

前回決算:2013年5月15日、設定日:2010年4月23日

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

- ・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

————— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —————

**【「毎月分配型」の分配の方針】**

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

なお、毎年3月および9月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

<sup>\*</sup>「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ご参考:設定来の毎月の分配金実績】(1万口当たり、課税前)

| ファンド                | 期間 | 2010年6月～<br>2011年5月 | 2011年6月～<br>2012年9月 | 2012年10月～<br>2013年5月 | 2013年6月 |
|---------------------|----|---------------------|---------------------|----------------------|---------|
| 円コース<br>(毎月分配型)     |    | 80円                 |                     |                      | 50円     |
| 資源国通貨コース<br>(毎月分配型) |    | 140円                | 100円                | 80円                  |         |
| アジア通貨コース<br>(毎月分配型) |    | 120円                | 100円                | 80円                  |         |

\*設定日は、2010年4月23日。初回分配日は、2010年6月15日。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【ご参考:投資環境】

《ハイ・イールド債券の利回り(現地通貨建て、課税前)とファンドの最終利回り\*の推移》

ハイ・イールド債券の利回りの期間:2010年4月～2013年5月(月末値)

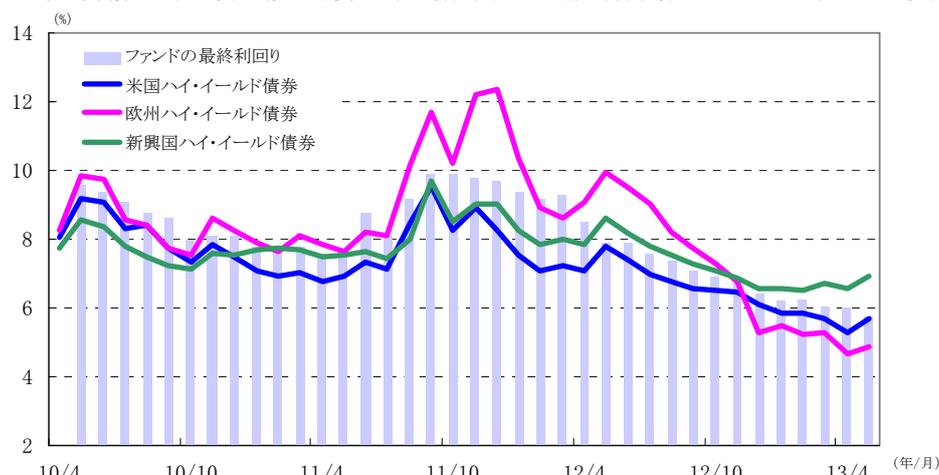
ファンドの最終利回りの期間:2010年5月～2013年5月(月末値)

米国、欧州、新興国のハイ・イールド債券の利回りは、それぞれ2010年4月(ファンド設定月の月末)と比較し低下しました。2011年8月以降、各ハイ・イールド債券の利回りは、大きく上昇する局面がありましたが、2012年に入り、世界景気の回復期待や欧州債務危機に対する懸念後退などを背景にハイ・イールド債券が買われたことから低下基調となり、その後も低下局面が続きました。2013年5月末の各ハイ・イールド債券の利回りは米国ハイ・イールド債券が5.7%、欧州ハイ・イールド債券が4.9%、新興国ハイ・イールド債券が6.9%となりました。

ファンドの最終利回りは、概ね市場利回りに追従して推移し、2011年秋には10%程度まで上昇しましたが、2013年5月末には5.7%まで低下しました。

ファンドの最終利回りの低下は、保有する債券の価格上昇となりファンドの基準価額にプラス寄与しましたが、ファンドへの資金流入や保有債券の償還等により、新たに投資した債券からのインカムゲイン(利子収入)は減少しました。

\*ファンドが投資する外国投資信託のポートフォリオの平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)。ファンド設定月(2010年4月)の月末時点では外国投資信託のポートフォリオの組入れが完了していないため、グラフでは2010年5月末からデータを表示しています。米ドル建て以外の債券等への投資にあたっては、原則として米ドル以外の債券など組入資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行いません。平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)は、債券など組入資産(現地通貨建て)の最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コストを反映し、表示しています。



米国ハイ・イールド債券: BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、欧州ハイ・イールド債券: BofA・メリルリンチ・ユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、新興国ハイ・イールド債券: 新興国ハイ・イールド国債および新興国ハイ・イールド社債の指数を50%ずつ合成した指数を使用(新興国ハイ・イールド国債: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(BB格以下)、新興国ハイ・イールド社債: JPモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード(BB格以下))

出所: NFR&Tのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

《円コース(毎月分配型)》

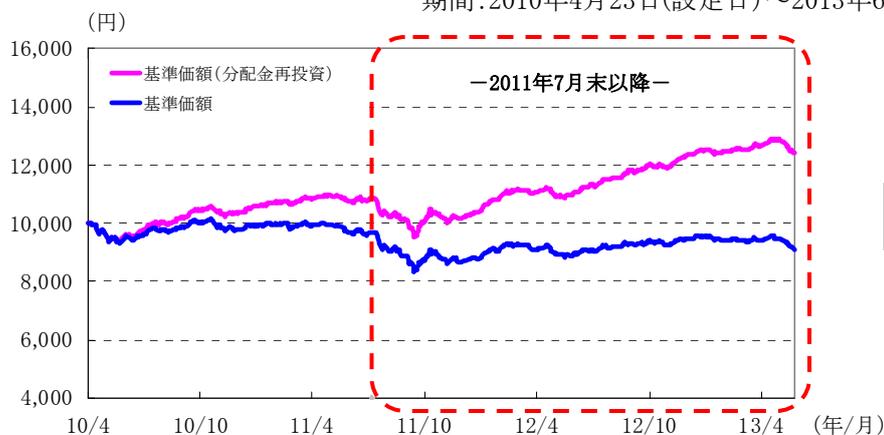
今回の決算におきまして、「円コース」の分配金を80円から50円に引き下げました。

基準価額は、2011年8月頃から下落基調を強め、同年10月に8,000円前半まで下落しました。その後、緩やかに上昇したものの、依然として10,000円を下回る水準にあります。足元では下落し、2013年6月17日現在9,115円となりました(グラフの点線赤枠部分)。2011年7月末を基準とする騰落率については、基準価額が-5.8%、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)が+14.8%となりました。

主に基準価額の水準やハイ・イールド債券のインカムゲインの減少(2ページご参照)などを勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

＜基準価額の推移＞

期間:2010年4月23日(設定日)～2013年6月17日、日次



2013年6月17日現在

|              |         |
|--------------|---------|
| 基準価額(分配金再投資) | 12,445円 |
| 基準価額         | 9,115円  |

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜(ご参考)円の短期金利の推移＞

期間:2010年4月～2013年5月(月末値)



円:1ヵ月LIBOR

出所:ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

《資源国通貨コース(毎月分配型)》

今回の決算におきまして、「資源国通貨コース」の分配金を100円から80円に引き下げました。

基準価額は、前回の分配金引き下げ(2012年10月15日決算において140円⇒100円)以降、同年11月より概ね上昇基調で推移したものの、依然として8,000円を下回る水準にあります。足元では下落し、2013年6月17日現在6,549円となりました(グラフの点線赤枠部分)。2012年10月末を基準とする騰落率については、基準価額が+4.6%、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)が+16.7%となりました。

「資源国通貨」の為替レート(対円)は、2012年10月末以降、上昇基調となりました(グラフの点線赤枠部分)。

「資源国通貨」の短期金利は、2012年10月末以降それまでの低下基調に歯止めがかかり、2010年4月来の低水準において横ばいで推移しました(2013年5月末現在5.1%、グラフの点線赤枠部分)。このため、為替取引によるプレミアムの水準も相対的に低い水準となりました。

主に基準価額の水準やハイ・イールド債券のインカムゲインの減少(2ページご参照)などを勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

＜基準価額の推移＞

期間:2010年4月23日(設定日)～2013年6月17日、日次



2013年6月17日現在

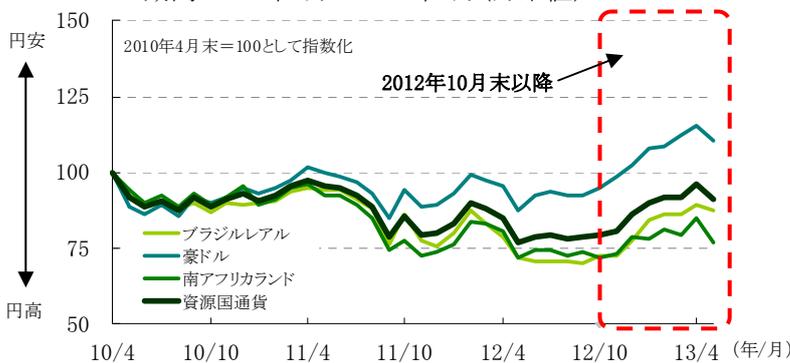
|              |         |
|--------------|---------|
| 基準価額(分配金再投資) | 12,370円 |
| 基準価額         | 6,549円  |

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜資源国通貨の為替レート(対円)の推移＞

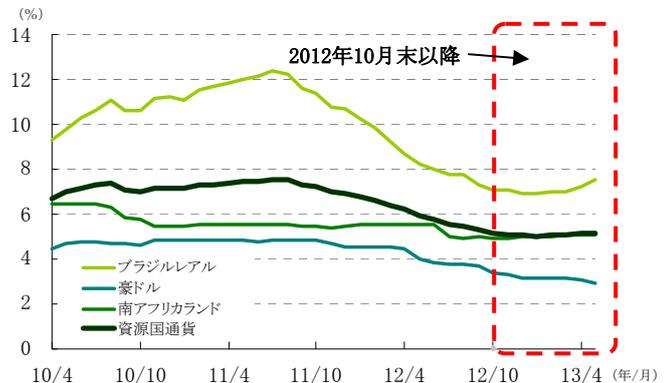
期間:2010年4月～2013年5月(月末値)



「資源国通貨」の為替の推移は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)に等分投資し、毎月末にリバランスをしたと仮定し、計算しています。なお、手数料等は考慮しておりません。出所:NFR&Tのデータを基に野村アセットマネジメント作成。各為替は、ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・ユー提供のデータを使用。

＜資源国通貨の短期金利の推移＞

期間:2010年4月～2013年5月(月末値)



「資源国通貨」の短期金利の推移は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)の短期金利の平均値です。ブラジルレアル:CD(譲渡性預金証書)レート1ヵ月、豪ドル:1ヵ月LIBOR、南アフリカランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月。出所:ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

《アジア通貨コース(毎月分配型)》

今回の決算におきまして、「アジア通貨コース」の分配金を100円から80円に引き下げました。

基準価額は、前回の分配金引き下げ(2011年6月15日決算において120円⇒100円)以降下落基調となり、2011年10月には6,000円台前半まで下落しました。2012年半ば以降は上昇基調となりましたが、依然として9,000円を下回る水準にあります。足元では下落し、2013年6月17日現在7,536円となりました(グラフの点線赤枠部分)。2011年6月末を基準とする騰落率については、基準価額が-7.5%、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)が+29.2%となりました。

「アジア通貨」の為替レート(対円)は、2011年6月末以降概ね下落基調で推移した後、2012年秋より上昇傾向となりました(グラフの点線赤枠部分)。

「アジア通貨」の短期金利は2011年6月末以降、低下基調で推移(2013年5月末現在5.6%)したことから、為替取引によるプレミアムは低下しました(グラフの点線赤枠部分)。

基準価額の水準やハイ・イールド債券のインカムゲインの減少(2ページご参照)、為替取引によるプレミアムの低下などを総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

＜基準価額の推移＞

期間:2010年4月23日(設定日)～2013年6月17日、日次



2013年6月17日現在

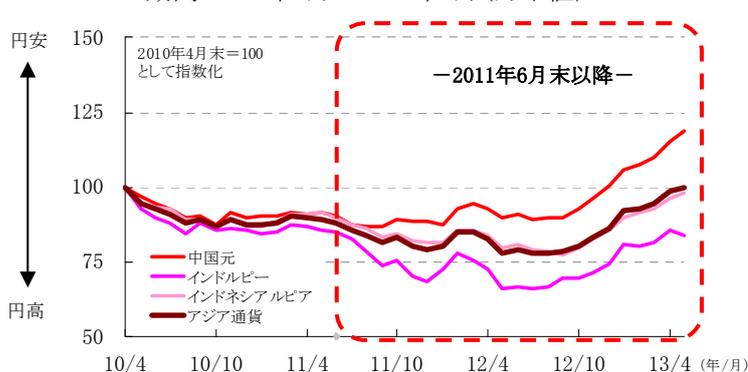
|              |         |
|--------------|---------|
| 基準価額(分配金再投資) | 12,591円 |
| 基準価額         | 7,536円  |

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜アジア通貨の為替レート(対円)の推移＞

期間:2010年4月～2013年5月(月末値)

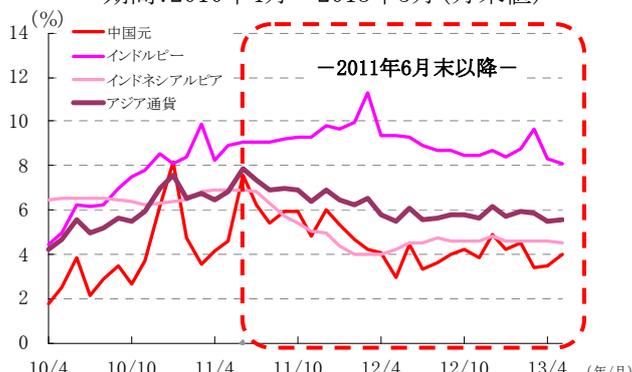


「アジア通貨」の為替の推移は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)に等分投資し、毎月末にリバランスをしたと仮定し、計算しています。なお、手数料等は考慮しておりません。

出所:NFR&Tのデータを基に野村アセットマネジメント作成。各為替は、ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー提供のデータを使用。

＜アジア通貨の短期金利の推移＞

期間:2010年4月～2013年5月(月末値)



「アジア通貨」の短期金利の推移は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)の短期金利の平均値です。

中国元:上海インターバンク・オファード・レート1ヵ月、インドネシアルピア:インドネシア・ジャカルタ・インターバンク・オファード・レート1ヵ月、インドルピー:NSEインターバンク1ヵ月オファード・レート  
出所:ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 【当資料で使用した市場指数について】

●BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、米国のハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表わす代表的な指数です。BofA・メリルリンチ・ユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch EURO High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、欧州のハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表わす代表的な指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(JP Morgan Emerging Market Bond Index Global)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット国債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。JPモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード(JP Morgan Corporate Emerging Market Bond Index Broad)は、J.P. Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット社債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

【ファンドの特色】

- 「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる3つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネープールファンド(年2回決算型)の7本のファンドから構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く3つのコースを総称して「各コース」といいます。)
  - ◆ 高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。
  - ◆ 世界のハイ・イールド債券<sup>※1</sup>を実質的な主要投資対象<sup>※2</sup>とします。
    - ※1 当ファンドにおいて、ハイ・イールド債券とは、格付機関によって格付される債券の信用度でBB格相当以下に格付されている有価証券をいいます(先進国または新興国の政府、政府機関もしくは企業が発行する債券、資産担保証券、優先証券等を含みます。)
    - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆ 円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
    - ・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」には、為替取引手法の異なる3つのクラスがあります。

| 各コース                       | 各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法   |
|----------------------------|---|
| 円コース<br>(毎月分配型)/年2回決算型     | 外貨建資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。   |
| 資源国通貨コース<br>(毎月分配型)/年2回決算型 | 外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引 <sup>※</sup> を行ないます。 |
| アジア通貨コース<br>(毎月分配型)/年2回決算型 | 外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、アジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引 <sup>※</sup> を行ないます。      |

※保有する外貨建資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

- ◆ 通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」への投資を中心とします<sup>※</sup>が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
  - ※ 通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆ 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
  - ◆ 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
  - ◆ 円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象<sup>※</sup>とします。
    - ※ 「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆ 「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
  - ◆ ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

● 分配の方針

◆ 毎月分配型

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
 分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。  
 なお、毎年3月および9月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。  
 ※「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

◆ 年2回決算型

原則、毎年3月および9月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
 分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 各コースの運用にあたっては、「野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社(NFR&T)」に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
  - ・ 投資対象とする外国投資信託において、NFR&Tが、ハイ・イールド債券の運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
  - ・ 副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、ハイ・イールド債券の運用において優れていると判断した運用会社を原則として複数選定します。
  - ・ NFR&Tは選定した副投資顧問会社及び外国投資信託全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。

| 副投資顧問会社   | 主な担当地域       |
|---|--------------|
| Nomura Corporate Research and Asset Management Inc.<br>J.P. Morgan Investment Management Inc.   | 米国           |
| FIL Investments International<br>DWS Investment GmbH<br>Amundi S.A.   | 欧州           |
| Schroder Investment Management Limited<br>Schroder Investment Management North America Inc.<br>Schroder Investment Management (Singapore) Ltd<br>UBS Global Asset Management (Americas) Inc.<br>UBS Global Asset Management (Deutschland) GmbH<br>UBS Global Asset Management (UK) Ltd<br>Ashmore Investment Management Limited | 新興国その他       |
| Standish Mellon Asset Management Company LLC<br>Wellington Management Company, LLP  | 米国、欧州、新興国その他 |

- ・ 出所: NFR&Tの情報に基づき野村アセットマネジメント作成
- ・ 上記の各副投資顧問会社は、平成25年6月7日現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成32年3月16日まで(平成22年4月23日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額  
【マネープールファンド】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

|                  |   |
|------------------|---|
| 円コース<br>資源国通貨コース | ○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合<br>・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行<br>・ロンドンの銀行・ルクセンブルクの銀行   |
| アジア通貨コース         | ○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合<br>・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行<br>・ロンドンの銀行・ルクセンブルクの銀行<br>・ジャカルタの銀行<br>○申込日当日が、中国またはインドの連休等で、購入、換金の申込みの受け付けを行わないものとして委託会社が指定する日の場合 |

- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【当ファンドに係る費用】

(2013年6月現在)

|                              |  |
|------------------------------|--|
| ◆ご購入時手数料                     | ご購入価額に4.2%(税抜4.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br><スイッチング時><br>販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br>なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料<br>※詳しくは販売会社にご確認ください。  |
| ◆運用管理費用(信託報酬)                | 【各コース】<br>ファンドの純資産総額に年0.819%(税抜年0.78%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。<br>○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.719%程度(税込)<br>※ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。<br>【マネープールファンド】<br>ファンドの純資産総額に年0.5775%(税抜年0.55%)以内(平成25年6月7日現在年0.021%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 |
| ◆その他の費用・手数料                  | 組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。<br>※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。  |
| ◆信託財産留保額<br>(ご換金時、スイッチングを含む) | 【各コース】<br>1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額<br>【マネープールファンド】<br>ありません。   |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に  
応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104  
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★  
http://www.nomura-am.co.jp/

★携帯サイト★  
http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。